

携帯電話に関する市場調査報告書

～ 2020年を目前にした市場の動静 ～

携帯電話WG(政策渉外部 調査・統計室)

携帯電話WGでは、携帯電話の市場動向の把握、業界統計の整備、市場における課題の把握と対応や新規需要の創造および市場育成を目的として活動を行い、その結果を本報告書にまとめました。

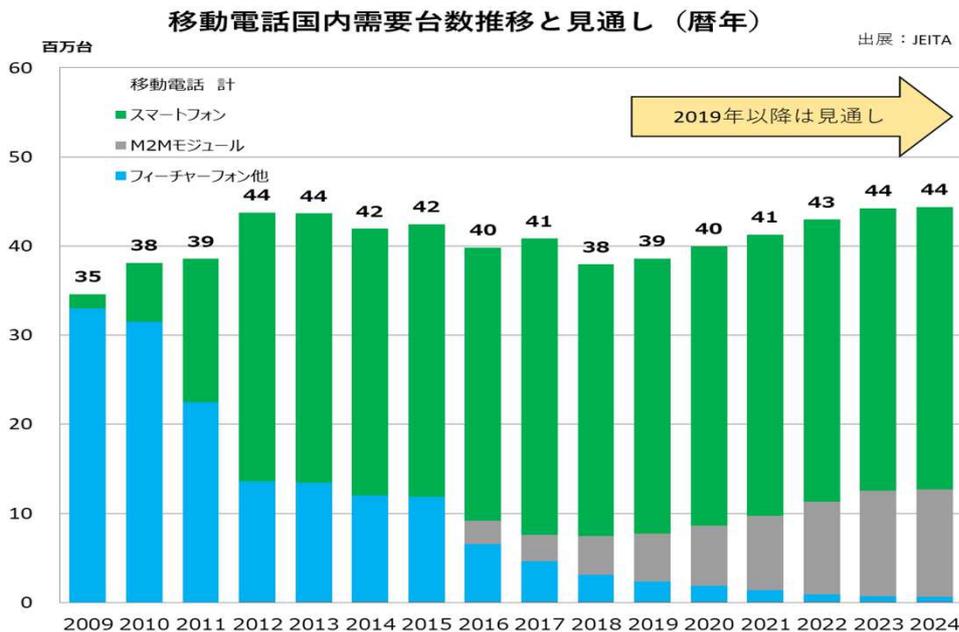
業界統計だけでは把握できない国内総需要台数を推計するとともに、2024年までの見通しをまとめています。また本WGで実施した販売店調査や今後成長が期待されるLPWA（Low Power Wide Area 省電力広域）を使用したサービス事業者へのヒヤリング調査等の結果を整理しています。本誌が皆様のお役にたてば幸いです。

背景

2010年以降、スマートフォンの急速な市場拡大、2011年にLTEサービスがスタートしたことで、高速通信環境は急速に拡大し、動画閲覧機能や電子書籍閲覧機能、オンラインゲーム機能などの有料サービスが広がるなど利用シーンが増えることで、利用シーンに応じて端末を複数台持ち、使い分けをする動きが広がっている。また、携帯電話端末は急速な発展を続けるクラウドコンピューティングや、IoT時代に、そのユーザインターフェースを担う端末として大きな期待が寄せられている。

国内需要台数推計と2024年までの見通し

統計参加外企業を含めた2018年における日本市場全体の需要台数は、37,848千台、前年比92.9%とマイナスとなった。うち、スマートフォンは30,466千台、前年比91.7%、スマートフォン比率は90.9%となった。2019年以降は徐々に回復し、2024年には44,319千台、スマートフォン比率は98.3%に達するものと見通した。2015年にはSIMフリーやMVNO（Mobile Virtual Network Operator 仮想移動体通信事業者）を背景とした格安スマートフォンが登場し、2016年から2017年へと市場が拡大している。2018年はIoT市場の拡大に伴うM2M通信モジュールの需要増、2019年以降は5G対応による新たなサービスの出現により端末の増加が期待される。



※2016年11月までは公衆用PHSを含む。
※単位未満四捨五入の関係により合計が一致しない場合がある。

世界市場における移動電話の現状と将来に関する調査

2019年の移動電話の世界生産台数は18億42,533千台、前年比102.2%と見通した。またスマートフォン比率は79.6%まで高まる見通しである。引き続きLTE商用サービスを導入するキャリアの増大、LTEへの投資拡大により、フィーチャーフォンからスマートフォンへの移行は続くと考えられる。また、5Gの商用化が進むことにより、さらに高性能な端末が近い将来に普及すると考えられる。

販売店調査・日本市場の課題調査

国内の販売店5店舗（23区内auショップ、首都圏地区ドコモショップ、首都圏地区ソフトバンクショップ、23区内ワイモバイルショップ、23区内量販店）にヒヤリング調査を行い、市場の現状を広く把握した。販売店調査の結果、全体としてスマートフォンの比率は高まり、特に年配層のスマートフォン利用が増加。そのためスマートフォンの販売強化のために各店舗それぞれの客層に合わせた工夫が見られる（スマートフォン教室など）。また、大手キャリアの中には格安スマートフォンの影響や、キャリアによるオンライン販売の強化による来店客数の減少が見られたこと、さらに、従来多くの接客時間を要していた設定方法や操作方法などの問い合わせがコールセンターでの応答へと代替されるなど、販売店舗における時間の使い方に変化が見られた。

日本市場の現状に関する調査（LPWA市場・MVNO市場）

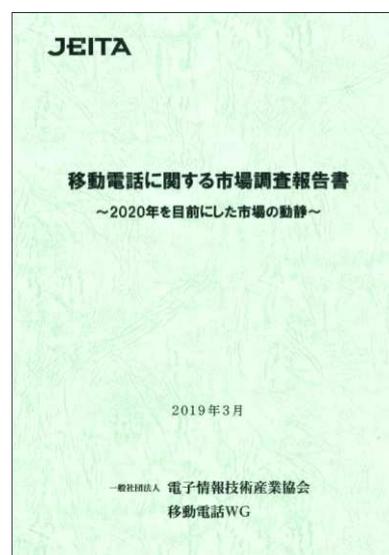
日本の移動電話市場の現状や今後の市場拡大に向けた動向と将来に向けた取り組みを調査する為、京セラコミュニケーションシステム株式会社と株式会社MM総研へヒヤリングを実施した。京セラコミュニケーションシステム株式会社からは、今後成長が期待されるLPWA市場での取り組みの一つである「Sigfox」を利用した端末、サービスの事例に関して説明頂いた。株式会社MM総研からは、日本の移動電話市場の現状と課題を聞くことが出来た。

本WGでは、LPWAに代表されるIoTサービスによる新しい端末需要が喚起されていくと推測する。また、株式会社MM総研は、IoTサービスが今後のMVNO市場を牽引していくと推測している。将来のモバイル市場の動向を把握するためには、調査ヒヤリングを継続する必要があると考える。

刊行案内・目次

書名：移動電話に関する市場調査報告書 ～2020年を目前にした市場の動静～

- 第1章 調査の概要
- 第2章 日本市場における移動電話の将来に関する調査
 - 2.1 調査の概要
 - 2.2 移動電話の日本市場(内需)動向
 - 2.3 携帯電話の国内出荷(統計実績)動向
 - 2.4 日本市場におけるトピックスと
 - 通信方式・契約数の推移
 - (世代別通話の通信方式・キャリア別通信方式・5Gの定義と動向、通信事業者の動向等)
- 第3章 世界市場における移動電話の現状と将来に関する調査
 - 3.1 調査の概要
 - 3.2 移動電話の世界市場動向
 - 3.3 世界市場におけるトピックス
- 第4章 移動電話を取り巻く日本市場の現状に関する調査
 - 4.1 販売店の現状調査(ドコモショップ・ソフトバンクショップ・auショップ・ワイモバイルショップ等)
 - 4.2 日本の移動電話市場における課題に関するヒヤリング(京セラコミュニケーションシステム(株)、(株)MM総研)
- 第5章 まとめ
 - 5.1 2018年度調査のまとめと考察
 - 5.2 今後の活動



- サイズ : A4判67頁(2019年3月)
- 頒 価 : 一般 21,600円/会員 10,800円(税込)
- 発 行 : 一般社団法人 電子情報技術産業協会
- 編 著 : 移動電話WG